

## 県外派遣報告書

審判員名	金井 大樹	所属	U-12	
大会名	第41回関東ミニバスケットボール大会			
期間	令和2年1月3日(金)～1月5日(日)			
会場	日本工学院八王子専門学校 府中市立本宿体育館 府中市立第七中学校			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
1月3日(金)	審判会議	立川ホテル会議室		
1月4日(土)	大会1日目	日本工学院八王子専門学校		
1月5日(日)	大会2日目	府中市立第七中学校		
会議 講義 内容				
<p>講師</p> <p>一般社団法人東京都バスケットボール協会審判委員長 平原 勇次 氏          一般社団法人東京都バスケットボール協会副審判委員長 嶋崎 貴 氏          一般社団法人東京都バスケットボール協会審判委員 松浦 咲 氏          一般社団法人東京都バスケットボール協会審判委員 五十嵐 菜美 氏</p> <p>講義</p> <p>一般社団法人東京都バスケットボール協会副審判委員長 嶋崎 貴 氏          テーマ「コミュニケーション」          コミュニケーションには、審判-審判のコミュニケーション、審判-選手のコミュニケーション、審判-コーチのコミュニケーションがある。審判同士のコミュニケーションでは、確信のある情報をクリーンに情報提供し、起きた事象からそれぞれのアングルやポジションから「どう見えたか」「どう判断すべきか」の意見を提供していく。審判-コーチのコミュニケーションでは、相手が何を言いたいのかヒアリングし、コーチやクルーを否定しない。POCを把握した上で、short and clearに説明する。無視せずに冷静に対応するが、コーチに必ずしも納得してもらう必要はない。自分自身審判-コーチのコミュニケーションは苦手な部分でもあるため、今後の課題としていきたいと思う。</p>				
実技				
担当試合	期 日	1月4日(土)	(男子) 女子	男子MY1組
	対戦カード	下妻ジャスティスJr.(茨城県1位) VS 木場レッドシャークス(東京都2位)	主審	(副審)
	相手審判	内藤 教子 氏(山梨県)		
ミーティング内容		主任	飯島 祐紀 氏(茨城県)	
<p>Trailの見方の修正が必要である。Trailレベルが低い位置で判定していることがある。フロアバランス等考えながら、ポジションアジャストする。リードでは動きながら判定しているため、相手primaryを判定していることがあるため、今までの課題であるprimaryの理解を深めていく必要があると考えられる。</p>				

担当試合	期 日	1月4日(土)	男子 <b>女子</b>	女子WX1組
	対戦カード	寺尾(群馬県2位) VS 国分寺(東京都1位)	主審	<b>副審</b>
	相手審判	金田 圭介 氏(千葉県)		
ミーティング内容		主任 赤羽 沙耶 氏(栃木県)		
<p>お互いがお互いのprimary エリアを判定しているため、primaryの理解を深める。嶋崎氏より前日にあったコミュニケーションの講義の中での審判-コーチのコミュニケーションをとる場面があった。short and clearに説明できるよう今後も挑戦していく。試合の開始からテンポセッティングをしていくことで、両選手、コーチへのフラストレーションは溜まらずゲームは進行できるが、フラストレーションを溜めてしまった。今後もバスケットボールの理解を深めていく必要があると考えられる。</p>				
担当試合	期 日	1月5日(日)	男子 <b>女子</b>	女子3位リーグ
	対戦カード	田富女子(山梨県2位) VS 氷川台JETS(東京都4位)	主審	<b>副審</b>
	相手審判	田中 由紀子 氏(栃木県)		
ミーティング内容		主任 進藤 道広 氏(東京都)		
<p>判定に関して一貫性がない。前半に鳴っていなかったものが、後半に鳴り始めていたりしていた。ゲームはじめより両チームのバスケットボールを理解し、悪いものは判定していく。TO管理がゲーム始めはできていなかったが、後半より気にしていたため、前半より行いTOともコミュニケーションを図っていくことが大切である。</p>				
担当試合	期 日	1月5日(日)	<b>男子</b> 女子	男子3位リーグ
	対戦カード	ALL AZUMA(群馬県2位) VS 小山Spirits(栃木県1位)	<b>主審</b>	副審
	相手審判	後藤 貴哉(東京都)		
ミーティング内容		主任 上杉 侑里子 氏(東京都)		
<p>Trailレベルが低い位置で判定していることがある。初日にも同等のことを言われていたが修正できていなかった。Boxing inを意識することでとれうるレベルも変化すると言われたため挑戦していく。接戦のゲームである場合には勝敗を左右する可能性があるため、primaryエリア、アングルに関しては意識していく必要性がある。</p>				
全体の感想				
<p>今回参加させていただき、審判として必要な様々なことを学ばせていただき貴重な体験をすることができました。嶋崎氏のレクチャーでは、コミュニケーションについてご教授いただき、改めて再確認することができました。東京都の皆様には、3日間大変お世話になり感謝申し上げます。また、このような貴重な機会を与えていただいた埼玉県の皆様には感謝申し上げます。学んだことを連盟に伝達し、今後の活動に生かしていきたいと思っております。</p>				